

北九州市学校給食審議会議事概要

- 1 会議名 第1回北九州市学校給食審議会
- 2 議題 給食の状況について
- 3 開催日時 平成28年11月24日(木) 15:00~15:30
- 4 開催場所 小倉北区役所庁舎東棟5階 503会議室
- 5 出席者氏名 委員(15名:順不同、敬称略)
 - 奥村 直樹 (北九州市議会議員)
 - 平野 英敏 (北九州市医師会理事)
 - 天本 祐輔 (北九州市医師会理事)
 - 白水 京子 (北九州市薬剤師会副会長)
 - 奥谷 めぐみ (福岡教育大学講師)
 - 荒木 裕子 (九州女子大学講師)
 - 多田 政博 (北九州市PTA協議会専務理事)
 - 藤垣 知美 (北九州市PTA協議会理事)
 - 村島 永俊 (北九州市PTA協議会副会長)
 - 新澤 直美 (北九州市PTA協議会副会長)
 - 高田 利弘 ((公財)北九州市学校給食協会理事長)
 - 倉本 京子 (北九州市立中尾小学校長)
 - 諸藤 貴子 (北九州市立千代小学校長)
 - 田中 朋子 (北九州市立菅生中学校長)
 - 三船 里佳 (北九州市立中央中学校長)

6 議事要旨

◆「給食の状況」について事務局より説明。

◇委員 ・名古屋市と新潟市で給食費が1,000円も違うというのはなぜか。

◆事務局 ・自治体によって食材購入のやり方が違っており、北九州市であれば給食協会を通じて一括購入し、安全なものを安価に購入するという手続きをとっているが、自治体によっては、学校ごとに購入する体制をとっているところもあるので、その点が影響していると考えている。

- ◇委員 ・青果の値上がりにより、規格の弾力化で対応したとのことであるが、具体的にどのような対応を行ったのか。
- ◆事務局 ・例えば、にんじんは通常M~2Lの規格としているが、一段階落としてSサイズから入れることで量の確保に努めた。また規格ではないが、だいこんの産地について、大分、熊本、鹿児島、北海道で当初予定していたところに青森を追加して量の確保に努めたといった例がある。
- ◇委員 ・残食についてだが、逆に足りないといった意見はないか。
- ◆事務局 ・副食については教室で注ぎ分ける方法をとっているため、量が多すぎる子には少なめに、少ない子には少し多めにといった配慮は行っている。
- ◇委員 ・ここでの残食率とはトータルでということか。
- ◆事務局 ・そのとおり。全校で食べ残した分量を出来上がり量で割戻して算出したものである。
- ◇委員 ・残食率の統計のとり方だが、男女別でとることはできないのか。中学生の残食について、もしかすると女子生徒はボディイメージを大切にしはじめる頃なので残食率が高く、男子生徒はそんなにないのではないかと思う。性別による差があれば、将来の残食率を減らしていく取組みも工夫もできるのではないか。
- ◆事務局 ・実際の残食率の計測方法は、余ったおかずを給食室に戻して全ての量を計測している。それをクラスごとに行うとなると、給食時間も限られているので厳しいと思う。委員がおっしゃられるとおり、男女別の数値が測れば非常に参考になると思うが、学校側からしても難しいと考える。
- ◇委員 ・全校でなく各校1~2クラスを抽出して、毎年でなくても良いので調査してもよいと思う。
- ◆事務局 ・参考にして、協力していただける学校があれば取組みたい。
それから、先ほどの話で、女子学生が体型を気にしてといった意見があったが、先日、中学校を訪問した際、女子学生の中でも部活をやっている子は、担任の先生が余ったおかずを食べる人と言った際に、積極的に手を挙げて男子生徒に混じってじゃんけんをしていた。そういった取組みで、そのクラスは残食ゼロであったが、中にはそういった、しっかり食べる子もいるところもある。

- ◇委員 ・現場の先生に聞きたいが、私も、中学2、3年になると女子がダイエット的な面で残すと聞いたことがあるが、学校の方ではどうか。
- ◇委員 ・うちの学校では、私より小さな子から私の倍もある子どももいるため、量的なものについて、確かにごはん等は男子がたくさん食べて、最初から半分を男子にあげるといったこともみられるが、ダイエットのためにといったことは感じられず、女子でも結構食べていると思う。
- ◇委員 ・同じく中学校だが、女子でも「おかわり、はい。」と言って、おかわりをするような子が結構いる。中には本当に食の細い子もいて、初めからごはんを半分にしてあげるといったこともしている。ただ残食ですごく困っていることが、欠席が例えば3人いたら、その3人分もみんな分けて食べている。それが苦しいので、そんな時は残食が出たりする。
- ◇委員 ・欠席がある場合はその分も残食に入るのか。
- ◆事務局 ・計算上は、欠席者分も入ることになる。
- ◇委員 ・事前に欠席が分かっている場合は、母数が減るといった仕組みはないのか。
- ◆事務局 ・給食を止めることができている場合は、食材が発注されていないため、量には入らないが、急に休まれた場合は、給食自体作られるのでその分は加味されるかたちになる。
- ◇委員 ・例えばインフルエンザがはやっている時期になると、そのようなことが多く発生する可能性があるということか。
- ◆事務局 ・そのとおり。

事務局：
北九州市教育委員会事務局学務部学校保健課
TEL 093-582-2381